

『サクリフェイス』上映会/アフタートークゲスト決定！/コラボカレー情報

ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム “KIPPU”

Dr. Holiday Laboratory 『想像の犠牲』

12月13日（金）～15（日）ロームシアター京都 ノースホール

関連企画・明倫ワークショップ

アンドレイ・タルコフスキー『サクリフェイス』上映会&トーク

11月30日（土）14:00 京都芸術センター 講堂（南館2階）



2021年の設立以降、演劇、小説、川柳など、ジャンルを横断して言葉の表現を追求する劇団、Dr. Holiday Laboratory。関東を拠点にしているDr. Holiday Laboratoryは、ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム “KIPPU” に選出され初の地方進出を果たす。京都芸術センターでの滞在制作ののち、ロームシアター京都にて新作、『想像の犠牲』を発表する。

『想像の犠牲』は前作『脱獄計画（仮）』の後日譚として描かれる。『脱獄計画（仮）』はラテンアメリカ文学の傑作アドルフ・ヒューズによる小説『脱獄計画』をテーマに、饒舌かつ重層的な文体の戯曲、不気味な笑いと暴力が渦を巻く上演が話題を呼んだ。本作ではロシア人映画監督アンドレイ・タルコフスキーの遺作、『サクリフェイス』に着想を得て描かれる。

演出家コメント（山本ジャスティン伊等）

5人の人間が、いままさに死に面している「演出家」によって書かれた『想像の犠牲』という戯曲を上演するために集まっている。

『想像の犠牲』は、上演のために劇場にひとが集まるその意志と、それを演じることで犠牲となるものについての演劇です。

演じるということは、皮膚の境界線によって数えられない、複数の存在になるということです。それは私たちが今生きるこの社会/世界とはべつの可能性を示す陽気さ、奔放さ、蜂起の態度だと私は考えます。そして戯曲は、その上演によって、過去から未来にかけて、時間を超えて人が集まることを呼びかけ、それを可能にするメディアだと私は考えます。

私たちは過去から未来にわたって呼びかける。私たちが集まり、複数として生きることの陽気さ、奔放さ、蜂起を呼びかける。

それがこの作品の、二時間です。

お問い合わせ：Dr. Holiday Laboratory info@drholidaylab.com（小野寺、山本）

Dr. Holiday Laboratory 『想像の犠牲』 関連企画・明倫ワークショップ
アンドレイ・タルコフスキー『サクリファイス』上映会 &トーク

2024年12月13日～15日にロームシアター京都ノースホールで上演される演劇作品 Dr. Holiday Laboratory 『想像の犠牲』 関連イベント第2弾として、アンドレイ・タルコフスキー『サクリファイス』4Kレストア版を上映します。

無料で『サクリファイス』が見られる貴重な機会です。

ロシア-ウクライナ戦争の続く現在、ソ連から亡命し、行きすぎた文明と核戦争の恐怖を問うた『サクリファイス』は、ますます重要性を増しています。

本作は『想像の犠牲』の作中でも、物語の重要な鍵を握る要素として登場します。終了後は Dr. Holiday Laboratory 主宰の山本ジャスティン伊等が登壇し、『サクリファイス』と『想像の犠牲』にまつわるアフタートークを予定。現在稽古中の『想像の犠牲』制作の裏側から、タルコフスキー作品と演劇の関係などについて話します。



OFFRET
ANDREI ARSENYEVICH TARKOVSKY | THE SACRIFICE

画像はIVC 公式サイトより

開催概要

日時：11月30日（土）14:00 上映開始（本編147分、アフタートーク約30分を予定）

受付開始・開場は、上映開始の20分前 入場無料・要予約

会場：京都芸術センター 講堂（南館2階）京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2

予約・詳細：<https://note.com/drholidaylab/n/n47deed025125>

ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU” Dr. Holiday Laboratory 『想像の犠牲』

演劇、小説、川柳など、ジャンルを横断して言葉の表現を追求する劇団、Dr. Holiday Laboratory による、アンドレイ・タルコフスキー『サクリファイス』に着想を得た新作公演がロームシアター京都に登場。かつて起こらなかった出来事の犠牲を、未だ起こっていない出来事の犠牲を、私たちは、いかにして救うことができるのか？
時間が、空間が、あなたの肉体が、ゆっくりと軋みはじめる。



Dr. Holiday Laboratory …2021年設立。山本ジャスティン伊等（主宰）、石川朝日、小野寺里穂、油井文寧、ロビン・マナバットの5名をメンバーとして、東京・神奈川を拠点に活動。演劇を主な表現手段としながら、ダンス、川柳、小説などジャンルを横断しながら制作を行う。

山本の演劇作品は、文法や時空間の破綻を孕む饒舌かつ多層的な構造を持つ戯曲と、不気味な笑いや挑発的な態度を特徴とした演出が特徴。その作品は小説家の保坂和志や美術家のミヤギフトシなどからも高く評価されている。近作に『うららかとルポルタージュ』（2021）、『シャッセナンビ』（2022）、『脱獄計画』（2023）。

演劇公演『想像の犠牲』

日程：12月13日（金）～15日（日）

会場：ロームシアター京都ノースホール

作・演出：山本ジャスティン伊等 出演：石川朝日 佐藤駿 田崎小春 油井文寧 ロビン・マナバット
チケット販売中

詳細：<https://drholidaylab.com/sacrifice-in-imagination>

お問い合わせ：Dr. Holiday Laboratory info@drholidaylab.com（小野寺、山本）

『想像の犠牲』関連企画

アンドレイ・タルコフスキー『サクリファイス』上映会&トーク

2024年12月13日～15日にロームシアター京都ノースホールで上演される演劇作品 Dr. Holiday Laboratory 『想像の犠牲』関連イベント第2弾として、アンドレイ・タルコフスキー『サクリファイス』4Kレストア版を上映します。

無料で『サクリファイス』が見られる貴重な機会です。

ロシア-ウクライナ戦争の続く現在、ソ連から亡命し、行きすぎた文明と核戦争の恐怖を問うた『サクリファイス』は、ますます重要性を増しています。

本作は『想像の犠牲』の作中でも、物語の重要な鍵を握る要素として登場します。終了後は Dr. Holiday Laboratory 主宰の山本ジャスティン伊等が登壇し、『サクリファイス』と『想像の犠牲』にまつわるアフタートークを予定。現在稽古中の『想像の犠牲』制作の裏側から、タルコフスキー作品と演劇の関係などについて話します。



OFFRET
ANDREI ARSENYEVICH TARKOVSKY | THE SACRIFICE

画像はIVC公式サイトより

開催概要

日時：11月30日（土）14:00 上映開始（本編147分、アフタートーク約30分を予定）
受付開始・開場は、上映開始の20分前 入場無料・要予約

会場：京都芸術センター 講堂（南館2階）京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2

予約・詳細：<https://note.com/drholidaylab/n/n47deed025125>

アフタートーク ゲスト決定！

公演では3名の異なるゲストをお招きして、アフタートークを実施します。分野の異なる3名は本作をどう見るのか、公演とあわせてぜひご参加ください。

※アフタートークは該当回のチケットをお持ちのお客様のみご参加いただけます。

実施公演・ゲスト

12/14（土）13:00公演 ゲスト：塚原悠也（アーティスト/contact Gonzo メンバー）

関西学院大学文学部美学専攻修士課程修了後、NPO法人ダンスボックスのスタッフを経て、2006年パフォーマンス集団「contact Gonzo」の活動を開始し国内外で作品を発表。個人として2020年演劇作品『プラータナー：憑依のポートレート』におけるセノグラフィと振付に対し「読売演劇大賞」スタッフ賞受賞。現KYOTO EXPERIMENT共同ディレクター。

12/14（土）18:00公演 ゲスト：倉田翠（演出家・ダンサー・akakilike主宰）

1987年三重県生まれ。京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科卒業。3歳よりクラシックバレエ、モダンバレエを始める。京都を拠点に、演出家・振付家・ダンサーとして活動。2016年より、倉田翠とテクニカルスタッフのみの団体、akakilike（アカキライク）の主宰を務める。

令和5年度京都市芸術新人賞。セゾン文化財団セゾン・フェローⅠ。2024年4月より、まつもと市民芸術館 芸術監督（舞踊部門）。

12/15（日）13:00公演 ゲスト：保坂和志（作家）

1956（昭和31）年生れ。1990（平成2）年、『プレーンソング』でデビュー。1993年『草の上の朝食』で野間文芸新人賞、1995年『この人の闘（いき）』で芥川賞、1997年『季節の記憶』で谷崎潤一郎賞、2013年『未明の闘争』で野間文芸賞を受賞。他の作品に『残響』『カンバセーション・ピース』『猫がなくなった』『書きあぐねている人のための小説入門』『小説の自由』三部作、絵本『チャーちゃん』など。

『想像の犠牲』関連企画

スパイス料理店izon コラボレーションカレー

『おいしいだけじゃない、ストーリーのあるカレー』をコンセプトに、世界各国の国々にインスパイアされた「世界一周カレー」を提供しているスパイス料理店izonとのコラボレーションカレーの販売が決定。

KYOTO EXPERIMENT フリンジでもフェスティバルプログラムからインスパイアされたカレーを提供しているizon。果たして『想像の犠牲』からはどんなカレーが生まれるのか、作品を味覚でも体感できる機会となっています。

また、15,000円以上の応援チケットをご購入の方は、12月15日の夜にizonにて行う懇親会にご参加いただけます。カレーを食べながら、公演後のご感想や作家との交流もしていただけます。



開催概要

スパイス料理店izon

住所：京都府京都市中京区毘沙門町557-1（地下鉄「丸太町駅」から徒歩9分）

営業時間：水 18:00～21:00 木～土 11:30～15:00 18:00～21:00 日 11:30～15:00

定休日：月・火

コラボレーションカレー提供期間：12月1日(日)～15日(日)

コラボレーションカレー イメージ画像一式

：https://drive.google.com/drive/folders/14X2yAYtUA6UmWXKmpMVfRC1hPtn_5p54?usp=sharing

活動へのご支援について

本作品は、ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU”としてロームシアター京都および京都芸術センターより機材や施設の無料貸出といったサポートのもと制作するものです。一方で、小劇場の活動を行っていく上で活動資金を得るために現在最もよく活用されているとされている公的機関からの助成金申請では不採択がつづき、資金難に喘いでいる状況です。このままでは150万円程度の赤字が見込まれており、本来であれば公演中止が当然の選択です。

しかし京都で、ロームシアター京都で公演を行いたい。そしてこの作品をきっかけに、今後は継続的に京都でも活動していきたい。そのような思いから、公演を行うことに決めました。

そこでこの度、お客様に本作品・ひいてはDr. Holiday Laboratoryの今後の活動をご支援いただける三つの方法を設けることにいたしました。

1. 応援チケット

応援チケットは、チケットのご予約と同時に作品を支援いただけるチケットです。8,000円、15,000円、20,000円、30,000円、100,000円よりお選びいただけます。15,000円以上のチケットでは、12月15日の夜に行う懇親会にご参加いただけるので、公演後のご感想や作家との交流もできるおトクなチケットです。

2. 「かるふぁん！」によるサポート

「かるふぁん！」は、企業メセナ協議会による運営のもと、文化芸術への寄付ができるサービスです。このサービスのメリットは、寄附金控除の対象となるため、企業や法人はもちろん、個人であっても所得税や税額の控除対象となることです。応援チケットとはちがい、一口1000円より、ご自由な金額でご支援いただけるのも特徴です。

[『想像の犠牲』へのご支援はこちら](#)

3. Dr. Holiday Laboratory への直接のお振込み

Dr. Holiday Laboratoryの銀行口座へ、直接ご支援いただけるシステムです。Googleフォームに必要事項をご記入いただいたうえでお振込みいただくだけで完了するシンプルさが、このご支援の最大のメリットです。公演終了後、劇作家・演出家の山本ジャスティン伊等より、お礼のメールを差し上げます。

[直接お振込でのご支援はこちら](#)

公演概要

ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム “KIPPU”
Dr. Holiday Laboratory 『想像の犠牲』

【日程】2024年12月13日（金）～15日（日）

12/13（金）★19:00

12/14（土）☆★13:00 18:00

12/15（日）★13:00

※全席自由 ※受付開始は開演の30分前、開場は15分前 ※未就学児入場不可

☆託児サービスあり。 ★アフタートークあり。

【会場・アクセス】

ロームシアター京都 ノースホール （〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13）

<https://rohmtheatrekkyoto.jp/>

【チケット料金】

一般 3,500円

U25 2,500円

ペアチケット 6,000円（前売りのみ）

応援チケット 8,000円～（前売りのみ、

Peatix取り扱い）

※当日券は500円増

※U25チケットは、公演当日に受付にて年齢が確認できる
証明書（学生証、免許証等）をご提示ください。

※応援チケットはDr. Holiday Laboratory の活動を支援し
ていただけるチケットです。

【その他公演詳細】

web:drholidaylab.com/sacrifice-in-imagination

【チケット取り扱い】

劇場先行発売日 9月14日（土）

一般発売日 9月21日（土）

●[Dr. Holiday Laboratory Peatix](#)

●ロームシアター京都 オンラインチケット

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

24時間購入可 ※要事前登録（無料）

●ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL.075-746-3201

窓口・電話とも10:00～19:00/年中無休

※臨時休館日等により変更の場合あり

●京都コンサートホール チケットカウンター

TEL.075-711-3231

窓口・電話とも10:00～17:00/第1・3月曜日休館

※休日の場合は翌日

●京都芸術センター

事務所窓口（10:00～18:00）

クレジット

作・演出：山本ジャスティン伊等*

出演：石川朝日* 佐藤駿 田崎小春（青年団/melomys） 油井文寧* ロビン・マナバット*

舞台美術：佐々木文美（FAIFAI） 衣装：藤谷香子（FAIFAI） 照明：吉田一弥 照明操作：高木里桜

音楽：SKANK/スカンク（Nibroll） 戯曲執筆協力：吉水佑奈 舞台監督：十河陽平 テクニカルマネージメント：夏目雅也

アートディレクション：山本浩貴+h（いぬのせなか座） 制作：小野寺里穂* 制作補佐：遠藤七海

*Dr. Holiday Laboratory

台詞引用：映画『サクリファイス』（1986 監督：アンドレイ・タルコフスキー/字幕：清水俊二）より

発売元：アイ・ヴィー・シー ©Svenska Filminstitutet ¥6,800（+税）

協力：早稲田小劇場どらま館 認定：公益社団法人 企業メセナ協議会

共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、

京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都市

主催：Dr. Holiday Laboratory

Dr. Holiday Laboratory

2021年設立。山本ジャスティン伊等（主宰）、石川朝日、小野寺里穂、油井文寧、ロビン・マナバットの5名をメンバーとして、東京・神奈川を拠点に活動。演劇を主な表現手段としながら、ダンス、川柳、小説などジャンルを横断しながら制作を行う。

山本の演劇作品は、文法や時空間の破綻を孕む饒舌かつ多層的な構造を持つ戯曲と、不気味な笑いや挑発的な態度を特徴とした演出が特徴。その作品は小説家の保坂和志や美術家のミヤギフトシなどからも高く評価されている。近作に『うららかとルポルタージュ』（2021）、『シャッセナンビ』（2022）、『脱獄計画』（2023）。